



自分の体に関心をもって 健康づくりを実践していく子どもの育成
～「歯・口の健康づくり」を通して～



熊本県山鹿市立城北小学校

1 はじめに

健康な生活を送るための課題に気づき、解決のための知識や方法をもとに、生涯にわたって自律的に健康づくりを行っていかうとする児童をめざして、研究をすすめている。

2 これまでの取組

(1) 授業実践

① 各教科での実践

学級活動や総合的な学習の時間では、歯・口を大切にしていこうとする意識を高めるための「中心的な指導」を各学年で系統的に行った。また体育(保健)、道徳においても、自分を見つめたり、理解を深めたりしながら



歯列模型を使って



専門機関との連携

学習したことを生かしていけるような「関連的な指導」を行っていった。

特別支援教育においても、研究授業や専門医を招いての研修など通して研究を深めている。

② 学習過程の工夫

学習過程を「気づく」⇒「求める」⇒「生かす」とした。1時間の授業で、ひと単元の学習の中で課題を発見し、調べたり学んだり体験したりしながら知識と出会い、よりよい自分の生活に向けて児童が主体的に学んでいく姿をめざして取り組んだ。

③ 専門機関・ゲストティーチャーの活用

授業において、歯・口の健康の大切さや歯の仕組み、歯みがきの仕方など専門的な内容については歯科医、歯科衛生士、学校薬剤師、老人養護施設の利用者及び職員や養護教諭などとの連携を図って専門的な立場から指導をしていただくようにした。

④ 言語活動の充実

考えや事実を正確に伝え合ったり、感じたことを言葉で交流したりする言語活動を充実させることで、個人や学習集団としての考えを深め、さらに発展していけるような授業をめざしていった。

(2) 日常活動

① 歯みがきチェック(毎朝の健康観察時に実施)

② 給食後の「歯みがきたいそう」

③ 短学活「はぴはぴタイム」

ブラッシング技能の向上を図るとともに、児童一人一人の歯や歯みがきの実態を把握する時間とした。各学級の実態に応じて目標を設定して指導をし、必要に応じて染め出しを行っていった。また、「はぴはぴファイル」に染め出しの結果、気づきや反省、次の目標などを記入するようにした。



歯みがきたいそう



はぴはぴタイム

④ はぴはぴ集会(保健委員によるクイズラリー、歯科医・歯科衛生士による講話等)

⑤ 児童会活動(キャラクター・標語の募集、低学年や保育園児へのブラッシング指導等)

(3) 家庭・地域との連携

① 学校保健委員会(9月・3月に実施)

② 家庭教育学級(講演会、料理教室)

③ 歯科医・歯科衛生士・学校栄養士等との連携

④ はぴはぴ通信

本校での取組を各家庭に発信する手段として、「はぴはぴ通信」という研究だよりを発行した。



親子料理教室



はぴはぴ通信